

授業概要

中国語Ⅲは1年以上中国語を履修した学生を対象とする。初級、中級で習った中国語基礎文法を復習しながら、中国の社会や文化に関する文章を読んで、「読み書き」のための能力を段階的に高めさせる。授業では、シャドウイング、リプロダクションなどの訓練法を適切に取り入れ、質の高い中国語コミュニケーション能力の育成につながるようにする。また、中国語検定試験の練習を加え、試験対策を講じる。

授業計画

第 1 回	第1課「大学」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第 2 回	第1課「大学」	本文の説明、練習問題
第 3 回	第2課「北京」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第 4 回	第2課「北京」	本文の説明、練習問題
第 5 回	第3課「公園」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第 6 回	第3課「公園」	本文の説明、練習問題
第 7 回	第4課「四合院」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第 8 回	第4課「四合院」	本文の説明、練習問題
第 9 回	中国語検定対策（1）	
第10回	中国語検定対策（2）	
第11回	第5課「長城」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第12回	第5課「長城」	本文の説明、練習問題
第13回	第6課「北京美食」	単語、ポイントの意味と用法の解説、会話文の朗読
第14回	第6課「北京美食」	本文の説明、練習問題
第15回	総まとめ	
第16回	筆記試験の実施	

到達目標

中国語Ⅲでは、中国語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に文法事項をマスターしながら、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。視聴覚メディアなどを通じて文化・歴史・社会事情についても学び、国際的ビジョンを育成する。中国語検定試験合格のための対策を施すので、中国語検定3級レベルに達することを目標とする。

履修上の注意

「中国語Ⅱ」履修者が望ましい。

予習復習

事前にCDを聞いて、単語、文法と本文を予習しておいてください。
授業後は、本文を中国語で要約してください。

評価方法

期末試験 70%、小テストと課題 20%、受講態度 10%により総合評価する。

テキスト

- 教科書名：『リアルタッチ中国』
- 著 者 名：遠藤 光暁・衛榕群・汪暁京
- 出版社名：朝日出版社
- 出 版 年：2011 年